



市ホームページ内フォトギャラリーや公式ツイッターでもまちの話題を紹介しています!



瑞宝単光章を受章された遠藤東子さん

受章おめでとうございます

4月29日、弥富市民生・児童委員協議会会長の遠藤 東子さんが瑞宝単光章を受章されました。

これは、永年にわたり民生・児童委員として福祉発展にご尽力された功績が認められたものです。



【児童の作文】(抜粋)

この体験をして米づくりをしている人はすごいと思いました。この人たちが田植えをしなければ私たちはお米が食べられないので本当に感謝です。今度からお米を食べるときはいつも以上に感謝して食べます。

おいしいお米にな～れ!

5月26日、十四山東部小学校の5年生が、農業体験の一環で田植えをしました。あいち海部農協から苗を提供していただき、植え方を教わりました。子どもたちはぬかるみに足を取られながらも、ていねいに苗を植えました。このあと、稲刈り、脱穀も子どもたちで行い、米づくりについて学びます。秋にこのお米をいただくのが楽しみです。

ちょっと一息
“防災”

防災クイズに挑戦してみませんか?

問題 歩道橋を歩いている時、地震にあったらどのような行動をとりますか?

①

できるだけ急いで歩道橋から降りる。

②

できるだけゆっくりと歩いて歩道橋から降りる。

③

その場にしゃがんで手すりや柵をつかみ、揺れがおさまってから歩道橋から降りる。

答えはP17の下をご覧ください。

やとみ

歴史探訪

このコーナーでは、弥富市のまだまだ知られざる歴史について、弥富ふるさとガイドボランティアが紹介していきます。



前ヶ須の宿

歴史民俗資料館から狭い路地を西に入ったあたりは、かつて旅人が行き交う宿場でした。「ふたつやの渡し」と呼ばれる川港があり、弥富特産の金魚も、江戸時代の終わり頃に旅人によって前ヶ須にもたらされたと伝わります。

明治5年には、桑名から船で前ヶ須に上陸し、陸路で平島、十四山を經由し熱田に向かう新しい東海道が整備されました。昭和8年に尾張大橋が完成し国道1号が開通するまで、前ヶ須は愛知と三重を結ぶ水上交通の要地として繁栄し、郡役所や警察署などが置かれました。当時の面影は薄れましたが、宿屋や商店が軒を連ねていた地区には「駅地」という地名が残っています。



「ふたつやの渡し」の碑

市長の部屋



今年も酷暑になるのでしょうか。

マスクが暑苦しく感じる季節となりました。

本市では65歳以上の皆さんの新型コロナウイルスワクチン接種が始まり1か月が経過しました。

これまでに2回接種を済まされた方も多数いらっしゃると思いますが、依然として収束には至っておらず、引き続き感染防止対策をお願いいたします。

これからも希望する市民がワクチン接種を終えるまで、全庁一丸となって、スムーズな対応に努めてまいりますので皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

元気に夏をお過ごしください。

弥富市長 安藤正明